

令和3年度事業報告

1. 航空保安研究センターは、安全かつ効率的な航空交通を実現するための航空保安業務に関する調査研究を行い、その成果を航空保安業務の改善、向上に役立て、航空交通の発展に寄与することを目的としており、この目的を達成するため、次のような事業を行っています。
 - (1) 航空交通情報受配信事業
 - (2) 飛行コース公開システム関連事業
 - (3) 調査研究事業
2. 令和3年度（令和3年5月1日～令和4年4月30日）においては、以下の事業等を行いました。
 - (1) 航空交通情報受配信事業
 - (2) 飛行コース監視・公開システムの運用等業務（成田国際空港）
 - (3) 管制レーダー情報管理等業務（成田国際空港）
 - (4) 飛行コース公開システムに係るデータ編集作業（東京国際空港）
 - (5) 国際管制通信業務の実施体制の最適化に関する調査
 - (6) 西日本上下再編における管制作業負荷に関する調査
 - (7) 将来の時間管理運航に必要となる航空交通システム要件調査
 - (8) 安全性向上のための管制業務支援に関する調査
 - (9) 北部九州地区におけるターミナル管制業務に関する調査
 - (10) 飛行場情報業務実施体制の最適化に関する調査
 - (11) 予測型リスク管理に基づく安全監督に向けた安全情報等の活用に関する要件調査
 - (12) 航空安全プログラムの適用に伴う安全情報（自発報告）分析業務
 - (13) 中部国際空港航空機騒音等監視システムを構成する環境情報公開システムの保守業務
 - (14) ADS-Bによる航空機情報取得に関する調査
 - (15) 福岡空港の地上運用実態調査
 - (16) 東京国際空港運航情報データの買入れ
 - (17) 教育用飛行情報業務実習装置の運航情報端末用アプリケーション開発作業
 - (18) 羽田空港航空機内陸飛行騒音調査に係る航跡確認作業